



京都言語障害研究会第157例会のご案内

寒冷の候、貴職におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は本研究会に格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

下記の通り例会を開催いたすこととなりました。今回は、「読み書き」をテーマに例会を開催します。
会員のみなさまには何かとお忙しい時期ではありますが、万障お繰り合わせの上ご出席いただきますようお願いいたします。

学校長・所属長様におかれましては、会員の出席についてご高配いただきますようお願い申し上げます。

言記

- 日時 2019年1月26日(土) 13:00~16:00 (受付12:30~)
- 会場 アスニー山科 実習室 〒607-8080 京都市山科区竹鼻竹ノ街道町92番地 TEL075-593-1515
京都市生涯学習総合センター山科 ラクト山科C棟2階
- 参加費 会員 1,000円 非会員 3,000円 学生(大学、養成校) 1,000円
*事前申し込みは不要ですので、当日会場にお越し下さい。
- 日程 12:30~ 受付開始
13:00~ 講演開始 小山正氏
16:00~ まとめ・閉会

【演題】 『読み書きのつまづきのメカニズムや背景 ~言語発達の視点から~』

【講師】 小山正氏(神戸学院大学 教授)

【講演要旨】

読みや書きは、人の認知発達に影響を与える。読み、書きの発達には、子どもの思考の発達が絡んでいる。言語と思考の発達という観点から、子どもの読み理解や書きの発達について考えることは重要であろう。また、近年、読みの障害がある子どもへの支援に関連して、読みの学習がうまくできることが予測可能な要因についても研究され、就学前期からの対応も注目されている。これらの近年の研究も踏まえ、話しことばの発達を基盤に、文字言語学習への移行期にある子どもの発達と支援についても述べる。

【略歴】 大阪教育大学卒業後、京都市児童福祉センター心理判定員等を経て、現在は神戸学院大学の心理学部心理学科の教授。

【著書】 『乳幼児期のことばの発達とその遅れ-保育・発達を学ぶ人のための基礎知識-』(共著 ミネルヴァ書房 2015年発行)

『生きたことばの力とコミュニケーションの回復』(分担 金子書房 2010年発行)

『言語獲得期にある子どもの象徴機能の発達とその支援』(風間書房 2009年発行)

5. その他

※この会についてのお問い合わせ先(問い合わせは極力E-mailでお願いします)

【研究会事務局】

〒629-2311 京都府与謝郡与謝野町幾地1013番地
与謝野町立市場小学校 通級指導教室(担当 松本)
TEL:0772(42)3174(呼)
E-mail kyoto_genshoken@yahoo.co.jp

(↑アドレス欄に入れてください)

※今年度、複数回参加予定の方は、入会されることをおすすめします。
当日受付で参加費とともに納入ください。(年会費2,000円)

【会場案内図】

